

一般

段級

〔奥の細道〕  
 持病まで起こって、身も持病まで起こって、身も心も消え入りそうになった。短い夏の夜も  
 ようやく明けてきたので、また旅立つことにする。まだ昨夜のいやな感じが残ってて、旅に  
 気持ちが向かなかつた。馬を借りて桑折の宿場に着いた。

持病さへおこりて、消入計になん。短夜の空  
 もやうく明れば、又旅立ぬ。猶夜の名残、心  
 すまらず。馬かりて、桑折の馭に出る。

